

第4回 HiPSI セミナー

日時：平成30年5月22日（火）14:35～16:05

場所：生物生産学部C314講義室

演題 1

「次世代トランスクリプトーム解析を用いた 植物の新しい貧栄養耐性機構の探索」

生物圏科学研究科 西田 翔 特任准教授

トランスクリプトーム解析とは、個体、組織、細胞における転写産物の全体像を、定量的あるいは定性的に把握するオミクス手法の一つである。これまでに、植物の栄養応答に関わるいくつかの重要な遺伝子や制御機構は、このトランスクリプトーム解析により明らかにされてきた。本発表では、高速シーケンサーを用いた次世代型トランスクリプトーム解析により見出された、植物の新しい貧栄養耐性機構について紹介する。

演題 2

「油脂高生産藻の解析から見えてきた油滴表層の重要性」

理学研究科 信澤 岳 助教

微細藻ナンノクロロプシスは、藻体乾燥重量の最大60%まで油脂を蓄積する。形質転換が困難な藻類が多い中、分子生物学的手法を適用しやすい藻類種であることから、液体バイオ燃料生産の実用化に向けて最も有望とされる生物のひとつである。今回、ナンノクロロプシスの脂質代謝系に着目した基礎研究成果を解説するとともに、油脂を蓄積するための生物普遍的オルガネラ「油滴」の表層が持つ可能性を紹介したい。

本セミナーは5研究科共同セミナーとして認定されます。

お問い合わせ：島田 裕士（内線7450, hshimada@hiroshima-u.ac.jp）
平山 真（内線7929, hirayama@hiroshima-u.ac.jp）